

能力開発 セミナー

令和8年度版
後期

ご案内

令和8年10月～令和9年3月

／ 在職者のための ／

ものづくり研修 コースガイド

★ スキルアップで
★ 未来を切り拓く！

実践的な研修で
現場力を
高めます



機械・保全関連

機械加工・保全関連・
測定技術など
現場で役立つ技能を習得



電気制御・電子回路・ 電気設備・通信関連

制御技術・電子回路設計・
電気設備・通信技術など
幅広い技術を学ぶ



居住関連

木工技術・建築技術・
住宅設備など
住まいづくりの技術を磨く

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部
東北職業能力開発大学校附属

東北能開大秋田校

令和8年度版後期（令和8年10月～令和9年3月）
東北能開大秋田校（秋田職業能力開発短期大学校）

能力開発セミナーのご案内

在職者のためのものづくり研修コースガイド

Contents

機械・保全関連

受講フロー	1
令和8年度後期実施月別コース一覧	1
セミナーコース詳細	2

電気制御・電子回路・電気設備・通信関連

受講フロー	9
令和8年度後期実施月別コース一覧	9
セミナーコース詳細	10

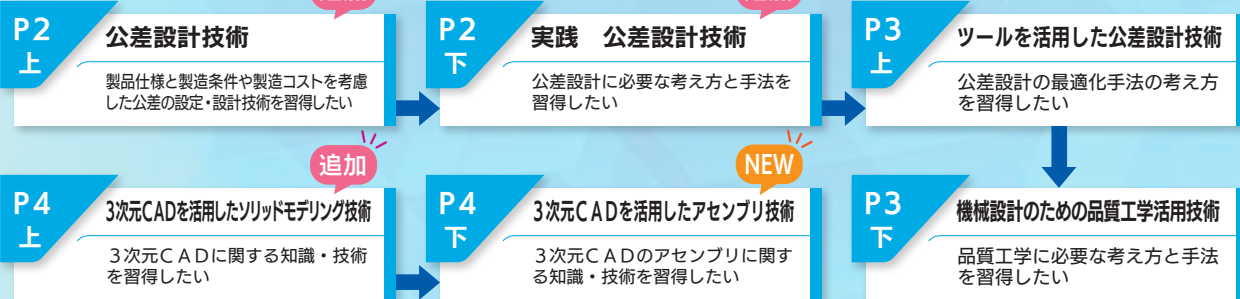
居住関連

受講フロー	15
令和8年度後期実施月別コース一覧	15
セミナーコース詳細	16

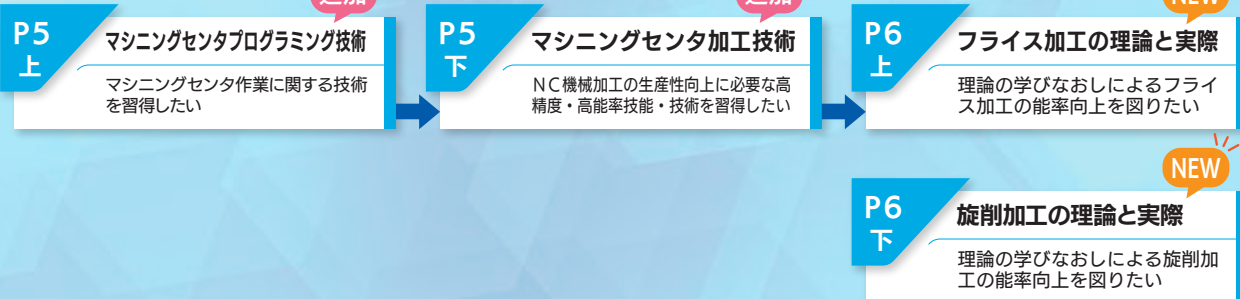
高度ポリテクセンターのご案内	21
マイページサービスの提供 かんたん3ステップで登録	22
受講申し込みの流れ	23
オーダーメイドセミナーのご案内・Q&A	24
施設貸与のご案内、講師派遣のご案内	25
事業主推薦入校制度のご案内	26
人材開発支援助成金、共同研究・受託研究のご案内	27
受講申込書	
受講者変更・取消届	

機械・溶接・保全関連 受講フロー

機械設計／機械製図



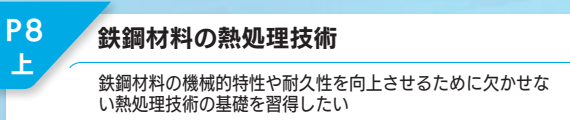
NC機械加工



保守・メンテナンス



金属熱処理／金属表面



令和8年度後期実施月別コース一覧

コース番号	コース名	日 程	定員	受講料	ページ
10 月					
NEW 5M221	フライス加工の理論と実際	10/14(水)、15(木)	10	7500	6
追加 5M022	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	10/22(木)、23(金)	10	8000	4
5M191	鉄鋼材料の熱処理技術	10/29(木)、30(金)	10	10,000	8
NEW 5M231	3次元CADを活用したアセンブリ技術	10/29(木)、30(金)	10	8,000	4
11 月					
追加 5M092	マシニングセンタプログラミング技術	11/10(火)、11(水)	10	9,500	5
NEW 5M241	旋削加工の理論と実際	11/11(水)、12(木)	10	7,500	6
追加 5M082	伝動装置の機械保全技術	11/12(木)、13(金)	8	11,000	7
追加 5M102	マシニングセンタ加工技術	11/17(火)、18(水)	10	12,000	5
追加 5M132	公差設計技術	11/26(木)、27(金)	20	4,500	2
12 月					
5M201	ツールを活用した公差設計技術	12/24(木)、25(金)	20	4,500	3
令和9年2月					
追加 5M182	実践 公差設計技術	令和9年2/18(木)、19(金)	20	4,500	2
令和9年3月					
追加 5M271	5Sによるムダ取り・改善の進め方	令和9年3/3(水)、4(木)	15	5,000	7
5M211	機械設計のための品質工学活用技術	令和9年3/4(木)、5(金)	10	9,500	3

公差設計技術					
コース番号	5M132	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/26(木)、27(金)	9:30～16:30
訓練目標	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた最適な公差設定によりコスト競争力を強化するため、製品仕様と製造条件や製造コストを考慮した公差の設定・設計技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 公差の概要 3. 公差設計概要 4. 公差設計実習 5. 工程能力 6. まとめ				
主な使用機器	公差計算書		受講料	4,500円	
持参品	関数電卓、筆記用具		定員	20名	

追加

ツールを活用した公差設計技術

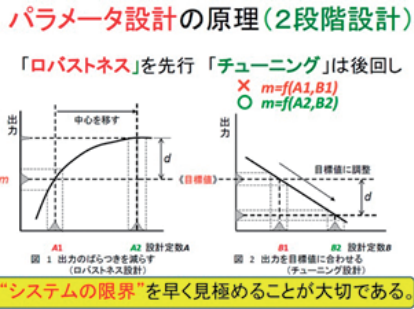
コース番号	5M201	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	12/24(木)、25(金)	9:30～16:30
訓練目標	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた3次元公差解析によって、製造上のバラツキの累積による製品の組立性や不良の発生率等を設計段階で検討できる公差設定の最適化手法の考え方を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 公差解析概要 3. 幾何公差の考え方 4. 3次元公差解析 5. 実習問題1（バイス） 6. 実習問題2（機構部品） 7. まとめ				
主な使用機器	3次元公差解析ソフトウェア		受講料	4,500円	
持参品	関数電卓、筆記用具		定員	20名	

実践 公差設計技術					
コース番号	5M182	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年2/18(木)、19(金)	9:30～16:30
訓練目標	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた公差解析実習を通して、コスト削減及び性能向上等を実現する最適なサイズ公差の設定方法・検証方法を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 公差解析概要 3. 実習問題1 （公差要因抽出及び図面指示の差による公差設計） 4. 実習問題2 （設計情報の把握及び公差設計を活用した構造変更） 5. ガタ・リンクを有する機構の公差設計 6. 実習問題3（リンク機構を有する構造の公差設計） 7. まとめ				
主な使用機器	表計算ソフト		受講料	4,500円	
持参品	関数電卓、筆記用具		定員	20名	

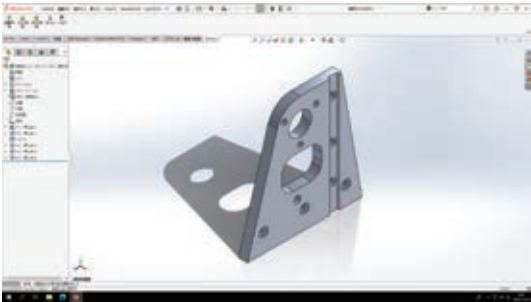
追加

機械設計のための品質工学活用技術

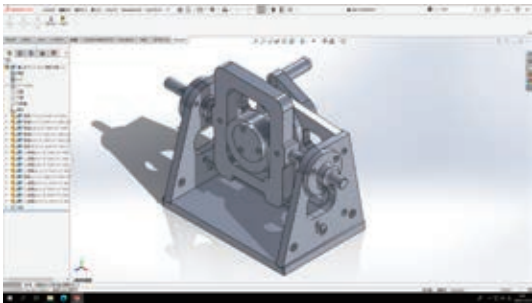
コース番号	5M211	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年3/4(木)、5(金)	9:00～17:00
訓練目標	製品企画／開発／デザインの新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたパラメータの最適条件を求める設計実習を通して品質工学における品質設計の実践的技能・技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. システムと安定性 3. パラメータ設計概要と課題実習 4. 技術開発でのパラメータ設計 5. 非線形システムのパラメータ設計と課題実習 6. 損失関数とその利用 7. 開発プロセス改革と事例 8. まとめ				
主な使用機器	パソコン、表計算ソフト		受講料	9,500円	
持参品	関数電卓、筆記用具		定員	10名	



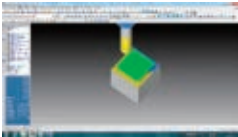
追加

3次元C A Dを活用したソリッドモデリング技術					
コース番号	5M022	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	10/22(木)、23(金)	9:30～16:30
訓練目標	製品設計業務における生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたモデリング実習を通して、ソリッドモデル作成のポイントについて理解し、高品質なC A Dデータ作成方法を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 設計とは 3. 3次元C A Dの概要 4. モデリング時のポイント 5. 構想設計 6. 総合演習 7. まとめ 				
主な使用機器	3次元C A Dシステム、関数電卓		受講料	8,000円	
持参品	メモ帳、筆記用具		定員	10名	

NEW

3次元C A Dを活用したアセンブリ技術					
コース番号	5M231	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	10/29(木)、30(金)	9:30～16:30
訓練目標	機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得する。				
内容	1. コースの概要及び留意事項 2. 設計とは 3. アセンブリ3ヶ条 4. 検証ツールとアセンブリ3ヶ条 5. 検証作業 6. まとめ 				
主な使用機器	3次元C A Dシステム、関数電卓		受講料	8,000円	
持参品	メモ帳、筆記用具		定員	10名	

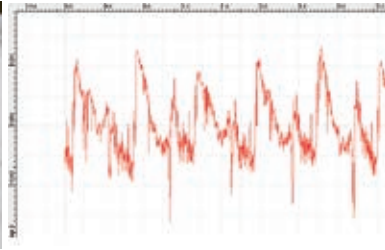
追加

マシニングセンタプログラミング技術					
コース番号	5M092	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/10(火)、11(水)	9:30～16:30
訓練目標	N C機械加工の生産性の向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習とプログラムの検証を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 各種機能とプログラム作成方法 3. プログラミング（FANUC Gコードを用いた演習） 4. その他（工具径補正、工具長補正について） 5. まとめ    				
主な使用機器	マシニングセンタ、シミュレーションソフト		受講料	9,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

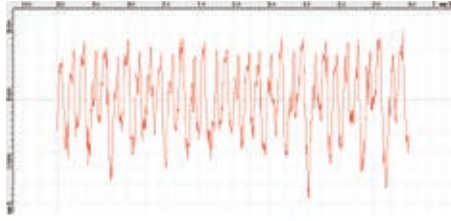
追加

マシニングセンタ加工技術					
コース番号	5M102	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/17(火)、18(水)	9:30～16:30
訓練目標	N C機械加工の生産性向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、高精度・高能率技能・技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 段取り作業のポイント （工具の取り付け、工具長測定、工具径補正登録、ワーク座標系設定） 3. マシニングセンタ加工 （フェイスミル加工、輪郭加工、穴あけ、ねじ加工等） 4. 加工課題実習 5. 改善のための確認・評価 6. まとめ   				
主な使用機器	マシニングセンタ、各種測定器、各種切削工具、治具		受講料	12,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

フライス加工の理論と実際NEW					
コース番号	5M221	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	10/14(水)、15(木)	9:30～16:30
訓練目標	機械加工の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた切削検証実習を通して、フライス加工の理論と実際との相違点を学習し、生産現場における問題解決を図ることができる能力を習得する。				
内容	フライス加工やエンドミル加工の理論や加工実験を行い、業務の裏付けや問題解決手法を習得します。NC旋盤作業に従事する中堅技術者の方にオススメです。 1. コース概要及び留意事項 2. 切削理論及び加工技術 3. 切削検証実習 4. まとめ				
主な使用機器	汎用フライス盤（ETSUKI 2MF）、各種切削工具、表面粗さ測定機などの各種測定機器		受講料	7,500円	
持参品	作業服、安全帽子、安全靴、保護メガネ、筆記用具		定員	10名	



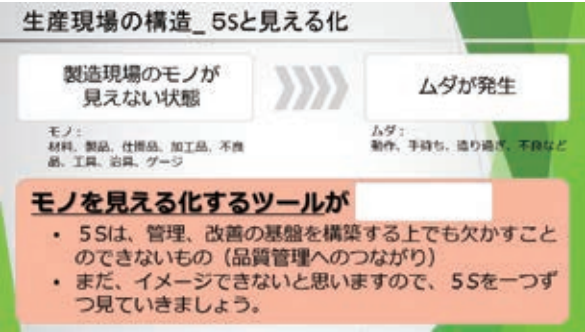
旋削加工の理論と実際NEW					
コース番号	5M241	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/11(水)、12(木)	9:30～16:30
訓練目標	機械加工の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた切削検証実習を通して、旋削加工の理論と実際との相違点を理解し、生産現場における問題解決を図ることができる能力を習得する。				
内容	旋削加工の理論や加工実験を行い、業務の裏付けや問題解決手法を習得します。NC旋盤作業に従事する中堅技術者の方にオススメです。 1. コース概要及び留意事項 2. 切削理論及び加工技術 3. 切削検証実習 4. まとめ				
主な使用機器	旋盤（TAL-540N） 各種切削工具、表面粗さ測定機などの各種測定機器		受講料	7,500円	
持参品	作業服、安全帽子、安全靴、保護メガネ、筆記用具		定員	10名	

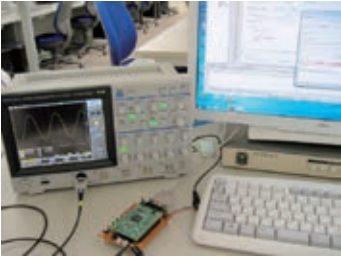


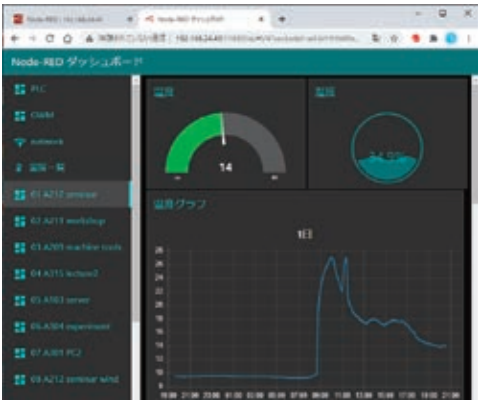
伝動装置の機械保全技術追加					
コース番号	5M082	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/12(木)、13(金)	9:30～16:30
訓練目標	機械保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた不良対策実習を通して、伝動装置の異常の種類やその原因を理解し、点検法及びその対処法に係わる知識・技能を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 伝動装置の機械要素部品の構造 3. 伝動装置の不良対策実習 4. まとめ				
主な使用機器	伝動実習装置、測定具（ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ他）、工具（ドライバー、ハンマー、レンチ、スパナ等）		受講料	11,000円	
持参品	作業服、メモ帳、筆記用具		定員	8名	

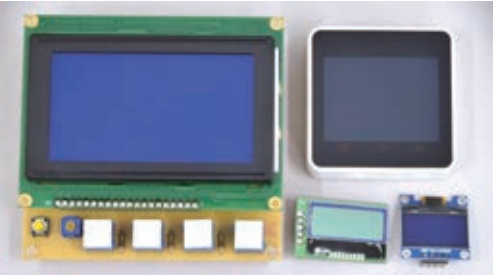


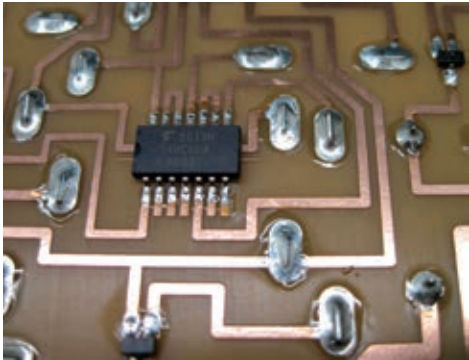
5 S によるムダ取り・改善の進め方追加					
コース番号	5M271	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年3/3(水)、4(木)	9:30～16:30
訓練目標	生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 生産現場の構造 3. 5 S 推進による現場の改善 4. ムダ取りの実践による現場改善 5. 現場改善のための指導技法 6. まとめ				
主な使用機器	パソコン、電卓、ストップウォッチ		受講料	5,000円	
持参品	筆記用具		定員	15名	

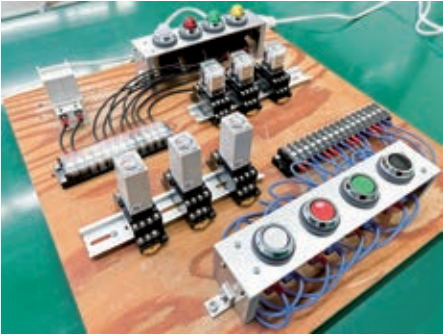


マイコン制御システム開発技術 追加					
コース番号	5D112	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	令和9年1/7(木)、8(金)	9:30～16:30
訓練目標	マイコン制御設計／パソコン制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたマイコンの構成から回路設計・プログラム実習を通して、マイコン制御に必要な要素、設計製作手法、プログラム開発技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. マイコン概要 3. 開発環境 4. マイコン周辺回路 5. 制御システム開発実習 6. まとめ 				
主な使用機器	マイコンボード、センサ、オシロスコープ、開発ツール		受講料	9,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

Z i g B e eによるワイヤレス・センサ・ネットワークの構築 追加					
コース番号	5D052	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	令和9年1/14(木)、15(金)	9:30～16:30
訓練目標	通信システム設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた無線通信・制御プログラミングを通して、ワイヤレス・センサ・ネットワークの構築を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. Z i g B e e概要 3. Z i g B e eネットワーク 4. Z i g B e e R Fモジュール 5. センサとの連携 6. 課題実習 7. まとめ 				
主な使用機器	Zigbeeモジュール、各種センサ、パソコン、開発環境		受講料	7,500円	
持参品	筆記用具、教材データを利用したい場合はUSBメモリ		定員	10名	

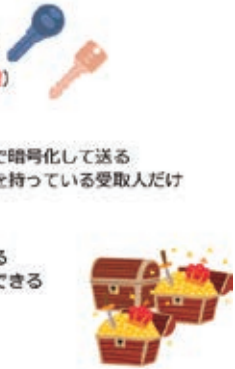
組み込み技術者のための液晶表示器活用技術 NEW					
コース番号	5D141 5D142	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	11/26(木)、27(金) 12/17(木)、18(金)	9:30～16:30
訓練目標	液晶表示器及びW i F i 通信機能を備えたマイコンシステムのプログラミング実習を通して、IoTシステムの構築手法を習得します。				
内容	本セミナーは、マイコンのプログラミング実習を通して各種液晶表示器の利用方法やプログラムの実装方法を学び、IoT液晶表示システムを構築する手法を習得します。 1. IoTシステムの概要 2. 各種液晶表示器の概要とインタフェース 3. マイコンのプログラミング実習 4. IoT液晶表示システムの構築実習 				
主な使用機器	マイコン(ESP32を予定)、各種液晶表示器(キャラクター液晶表示器、グラフィカル液晶表示器、有機 E L 液晶表示器)		受講料	10,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

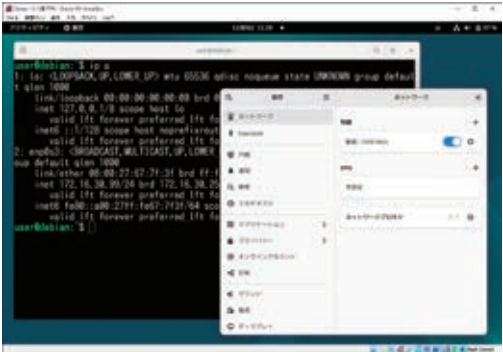
基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術 NEW					
コース番号	5D151	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	令和9年1/28(木)、29(金)	9:30～16:30
訓練目標	デバイス・基板製造／実装組立の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的知識に基づく鉛フリーはんだ付け実習を通して、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 鉛フリー化 3. 手はんだ付けの科学的知識 4. 鉛フリー手はんだ付けの課題 5. 鉛フリー手はんだ作業のポイント 6. 鉛フリー手はんだ付け実習 7. まとめ 				
主な使用機器	温度コントローラ付はんだこて、実習用基板、他		受講料	13,000円	
持参品	作業服（上）、筆記用具		定員	10名	

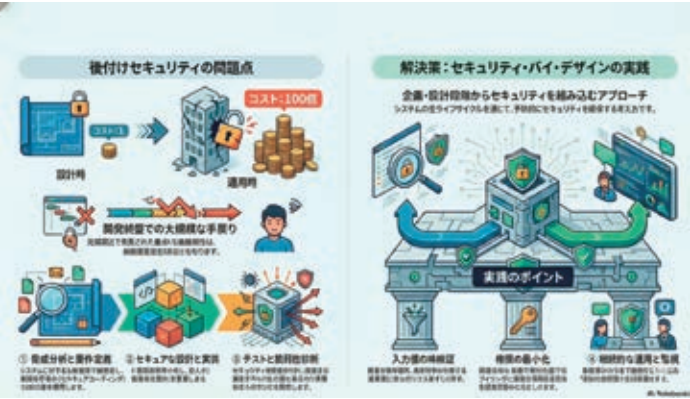
有接点シーケンス制御の実践技術追加					
コース番号	5M261	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	12/23(水)、24(木)	9:30～16:30
訓練目標	有接点（リレー）シーケンスについて、各種制御機器の概要、シーケンス図の読み方、配線方法などの、制作、メンテナンスの基盤となる技術を、実習を通じて習得します。				
内容	1. シーケンス制御の概要 2. 各種制御機器の種類 3. 主回路と制御回路 - シーケンス図の見方、書き方 - 各種基本回路 4. 制御制作実習（課題例：模擬信号機回路） - シーケンス制御回路の配線 - 試運転と動作確認 				
主な使用機器	各種制御機器、テスタ、配線工具、その他		受講料	9,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

P L C 制御の回路技術追加					
コース番号	5M251	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	12/21(月)、22(火)	9:30～16:30
訓練目標	PLCについて、ランプやスイッチなどの機器との接続から、開発ソフトを用いたラダープログラミングまで、機器制御の一通りの流れを、実習を通じて習得します。				
内容	1. 概要 - シーケンス制御の概要 - PLCの特徴、機器の構成 - 開発ソフトの機能と使い方 2. 基本命令 - 基本命令の動作 - 機器制御実習 3. 特殊な機能を用いた制御 - PLS命令 - SET/RST命令 - 特殊リレー 4. 各種回路の作成 - 自己保持回路 - インターロック回路 - 各種回路作成実習 5. 課題実習（模擬歩行者用信号機） - 配線実習 - プログラミング実習 				
主な使用機器	三菱電機製シーケンサ(FXシリーズ)、開発環境（GXWorks2）、各種制御部品、工具 他		受講料	8,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発					
コース番号	5D131	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	10/15(木)、16(金)	9:30～16:30
訓練目標	画像処理／信号処理設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた画像処理プログラム実習を通して、オープンソースを活用した画像処理・認識プログラム開発に関する技術を習得する。				
内容	1. 画像処理システムの知識 2. 開発環境の構築 3. 開発技術 4. 画像処理プログラムの開発 5. 画像認識プログラムの開発 				
主な使用機器	パソコン式、汎用画像処理ソフト、オープンソース（OpenCV）、USBカメラ、開発環境		受講料	7,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

技術者のための符号化・暗号化技術追加					
コース番号	5D042	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	10/29(木)、30(金)	9:30～16:30
訓練目標	通信や画像処理に用いられる情報の符号化、暗号化について表計算ソフトを使いながら基礎理論を習得し、今後のシステム開発に応用できるよう技術習得を目指します。				
内容	1. 符号化技術 2. 暗号化技術 3. 総合演習 公開鍵暗号の使い方 2つの鍵を使い分ける - 鍵Aは他人に教えない（秘密鍵） - 鍵Bは誰に教えてもよい（公開鍵） - 安全な受取り - 送信したい人は受取人の公開鍵で暗号化して送る - 復号できるのは対応する秘密鍵を持っている受取人だけ - 送信の証明 - 公開する文書に秘密鍵で署名する - 発信人の公開鍵で署名の確認ができる 				
主な使用機器	パソコン、表計算ソフト		受講料	7,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

IPv6による次世代通信システム構築					
コース番号	5D082	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	11/19(木)、20(金)	9:00～17:00
訓練目標	通信システム設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた脆弱性発生のメカニズムと対策に関する実習を通じてシステム開発におけるセキュリティ対策技術を習得する。				
内容	1. コースの概要及び留意事項 2. IPv6の復習 3. IPv6実装実習 4. IPv6環境における運用のポイント実習 5. IPv6システムにおけるセキュリティ 6. まとめ 				
主な使用機器	L3スイッチ、L2スイッチ、パソコン		受講料	9,000円	
持参品	筆記用具、教材データを利用したい場合はUSBメモリ		定員	10名	

システム開発におけるセキュリティ対策技術					
コース番号	5D102 5D103	開催場所/日程	東北能開大 秋田校	11/12(木)、13(金) 令和9年1/20(水)、21(木)	9:30～16:30
訓練目標	通信システム設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた脆弱性発生のメカニズムと対策に関する実習を通じてシステム開発におけるセキュリティ対策技術を習得する。				
内容	1. セッション管理における脆弱性 2. データ入力における脆弱性 3. 改ざん・漏洩における脆弱性 4. 総合演習 				
主な使用機器	パソコン、表計算ソフト		受講料	7,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

建築設計／建築製図

P16
上

室内環境測定の実践技術

室内環境測定・評価手法と改善
手法について習得したい

P16
下

木造住宅における結露防止を
考慮した断熱・気密設計法

断熱設計を通して結露防止に
関する技術を習得したい

P20
下

ARを活用した建築プレ
ゼンテーション技法

AR(拡張現実)を活用した建築プレ
ゼンテーション技法を習得したい

P17
上

省エネルギー住宅及び低炭素
建築物の計画実践技術

住宅の省エネルギー基準に関
する計算手法を習得したい

P17
下

住宅の音環境性能測定
実践技術

集合住宅における壁と床の遮音性
能の測定法と評価法を習得したい

建築計画／見積／積算

P18
上

積算実践技術

実習を通して建築工事の積算技術を習得したい

P18
下

高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術

高齢者配慮住宅のリフォーム計画技術を習得したい

施工計画／施工管理

P19
上

木造住宅における壁量計算技術

壁量計算実習を通して効率化、
適正化、最適化(改善)に向け
た設計の手順と構造計画に関す
る構造技術を習得したい

P19
下

木造住宅の架構設計技術

木造住宅の生産性の向上をめざ
して施工時の効率化や安全性向
上に向けた架構設計の技能・技
術を習得したい

P20
上

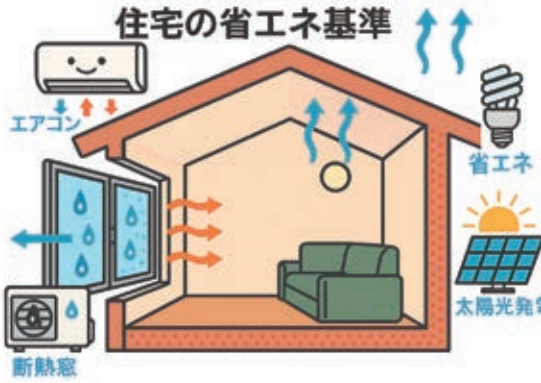
木造住宅における許容
応力度設計技術

構造計算ソフトを使用した許容
応力度設計をしたい

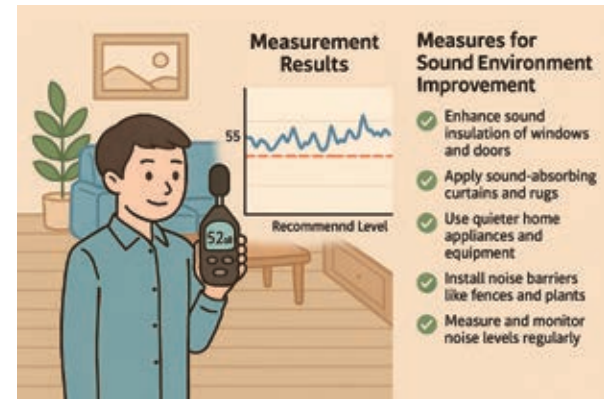
令和8年度後期実施月別コース一覧

コース番号	コース名	日 程	定員	受講料	ページ
10月					
追加 5H081	住宅の音環境性能測定実践技術	10/3(土)、17(土)	10	10,500	17
追加 5H142	積算実践技術	10/17(土)、18(日)	10	12,500	18
11月					
5H111	高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術	11/21(土)、22(日)	10	7,500	18
12月					
5H121	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	12/5(土)、19(土)	10	7,000	16
令和9年1月					
5H131	省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術	令和9年1/9(土)、23(土)	10	7,000	17
追加 5H033	ARを活用した建築プレゼンテーション技法	令和9年1/21(木)、22(金)	10	8,000	20
令和9年2月					
追加 5H022	木造住宅における壁量計算技術	令和9年2/17(水)、24(水)	10	7,500	19
令和9年3月					
追加 5H052	室内環境測定の実践技術	令和9年3/4(木)、5(金)	10	10,000	16
追加 5H042	木造住宅の架構設計技術	令和9年3/9(火)、10(水)	10	10,500	19
5H141	積算実践技術	令和9年3/9(火)、10(水)	10	12,500	18
追加 5H082	住宅の音環境性能測定実践技術	令和9年3/16(火)、17(水)	10	10,500	17
5H151	木造住宅における許容応力度設計技術	令和9年3/18(木)、19(金)	10	11,000	20

室内環境測定の実践技術 追加					
コース番号	5H052	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年3/4(木)、5(金)	9:30～16:30
訓練目標	環境測定・検査の生産性の向上をめざして、現場における環境測定・検査の効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けて環境測定・検査実習を通じて、室内における環境測定・評価手法と改善手法についての知識及び技術を習得する。				
内容	1. 温度の測定 2. 相対湿度の測定 3. 気流の測定 4. 二酸化炭素、一酸化炭素の測定 5. 浮遊粉塵の測定 6. 化学物質の測定 7. 音・光の測定 				
主な使用機器	アスマン乾湿計、デジタル温湿度計、熱電対、微風速計、粉塵計、検知管、二酸化炭素濃度計、照度計、騒音計		受講料	10,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術					
コース番号	5H131	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年1/9(土)、23(土)	9:30～16:30
訓練目標	建築設計において生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得する。				
内容	1. 住宅の省エネルギー基準 2. 外皮の計算 3. 一次エネルギー消費量の計算 4. 仕様基準 5. 低炭素建築物の計画 6. まとめ 				
主な使用機器	パソコン、関数電卓		受講料	7,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法					
コース番号	5H121	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	12/5(土)、19(土)	9:30～16:30
訓練目標	住宅設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた断熱設計実習を通して断熱気密工法と結露防止（防露）に関する技術を習得する。				
内容	1. 結露防止のための断熱工法 ①結露発生のメカニズム ②断熱化の目的と結露防止の関係 ③熱貫流、熱伝導、熱伝達 ④熱貫流量と部材表面温度の算出 ⑤湿度 ⑥断熱工法の主要な仕様 ⑦夏型結露と高断熱工法との関係 2. 断熱設計実習 ①断熱性能の目標 ②熱損失係数 ③断熱性能評価と改善策 ④気密工法の主な仕様 ⑤実践的な防湿設計法 3. まとめ 				
主な使用機器	パソコン、関数電卓		受講料	7,000円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

住宅の音環境性能測定実践技術 追加					
コース番号	5H081 5H082	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	10/3(土)、17(土) 令和9年3/16(火)、17(水)	9:30～16:30
訓練目標	建築環境の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた建築環境実習を通して住宅の音響測定、並びにその調査手法を習得する。				
内容	1. 室間音圧レベル差測定 2. 床衝撃音レベル測定 3. 室内騒音測定 4. 内外音圧レベル差測定 5. 外部騒音測定 				
主な使用機器	騒音計、周波数分析器、雑音発生器、軽量衝撃源（タッピングマシン）、他		受講料	10,500円	
持参品	筆記用具		定員	10名	

追加

積算実践技術					
コース番号	5H142	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	10/17(土)、18(日)	9:30～16:30
	5H141			令和9年3/9(火)、10(水)	
訓練目標	建築設計、施工において作業の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた各部の数量拾い実習を通して建築工事の積算技術を習得する。				
内容	建築数量積算基準に基づく、建築数量の拾い出しの仕方を学ぶ				
	1. コース概要及び留意事項 2. 建築積算 3. 積算数量拾い実習 4. 工事費概算 5. まとめ 				
主な使用機器	電卓、市販テキスト「建築数量積算基準・同解説」など			受講料	12,500円
持参品	筆記用具			定員	10名

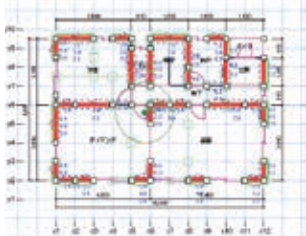
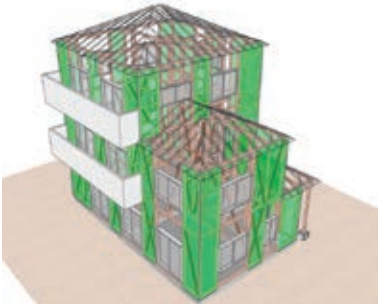
高齢者配慮住宅のリフォーム計画実践技術					
コース番号	5H111	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	11/21(土)、22(日)	9:30～16:30
訓練目標	建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた設計実習を通して高齢者配慮住宅のリフォーム計画技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 高齢者社会と居住環境 3. 医療の関係者からみた高齢者への取り組み 4. 高齢者対応空間と住宅設備機器 5. 高齢者に配慮したリフォーム計画 6. 設計実習 7. まとめ 				
主な使用機器	製図用具またはCADソフト、パソコン			受講料	7,500円
持参品	メモ帳、電卓、筆記用具			定員	10名

追加

木造住宅における壁量計算技術

コース番号	5H022	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年2/17(水)、24(水)	9:30～16:30
訓練目標	木質構造設計の生産性の向上をめざして、壁量計算実習を通して効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 木造住宅の構造設計 3. 壁量設計と演習 4. 構造計画特殊形態への対応 5. まとめ 				
主な使用機器	パソコン、関数電卓			受講料	7,500円
持参品	筆記用具			定員	10名

木造住宅の架構設計技術					
コース番号	5H042	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年3/9(火)、10(水)	9:30～16:30
訓練目標	木造住宅の生産性の向上をめざして、施工時の効率化や安全性向上に向けた建築物の構造計画、構造安定性を確保した架構設計に必要な知識を理解するとともに構造伏図の作成を通して、架構設計ができる技能・技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 架構設計の概要 3. 直下率チェック 4. 事故事例分析 5. 間取りと構造計画からみた架構設計 6. 構造図作成と架構チェック 7. まとめ 				
主な使用機器	関数電卓			受講料	10,500円
持参品	筆記用具			定員	10名

木造住宅における許容応力度設計技術					
コース番号	5H151	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年3/18(木),19(金)	9:30～16:30
訓練目標	木質構造設計の生産性の向上をめざして、適正化、安全性向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得する。				
内容	1. コース概要及び留意事項 2. 荷重・外力 3. 鉛直構面の設計実習 4. 水平構面の設計実習 5. 部材の設計実習 6. まとめ 				
主な使用機器	パソコン、構造計算ソフト	受講料	11,000円		
持参品	筆記用具	定員	10名		

A Rを活用した建築プレゼンテーション技法					
コース番号	5H033	開催場所／日程	東北能開大 秋田校	令和9年1/21(木)、22(金)	9:30～16:30
訓練目標	建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたA R技術を活用した建築業務に関する実践的なプレゼンテーション技法を習得する。				
内容	A Rを用いたプレゼンテーション用CG作成演習 				
主な使用機器	A R作成ソフト、パソコン、専用サーバ、タブレット端末	受講料	8,000円		
持参品	筆記用具	定員	10名		

追加

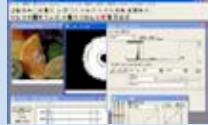
さらなるスキルアップを
目指すなら！

高度
ポリテクセンター

高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。



様々な技術分野のコース

切削・研削加工	塑性加工・金型	射出成形・金型	溶接	測定・検査・計測	材料・表面処理
					
機械保全	現場運営・改善	環境・安全	機械設計	自動化	電気設備
					
自動制御	パワーエレクトロニクス	電子回路	画像・信号処理	組込み・I C T	通信システム
					



人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
 - 見て触って理解する金型技術
 - 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析
 - ロボットシステム設計技術
 - 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
 - マイコン制御システム開発技術
- ※詳しくは、公式サイトをご覧ください。



お問合せ先

高度ポリテクセンター

- 〒千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
- 043-296-2582
- kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト

マイページ サービスの提供開始



在職者訓練（能力開発セミナー）、生産性向上支援訓練のWeb申込ができる「マイページ」サービスを開始しました。
電話やFAXでの申込が不要になり、便利にご利用いただけます。
※ 指導員派遣・施設設備貸与は、利用方法が異なりますので、マイページ操作方法をご確認ください。

かんたん 3 ステップで登録完了

STEP 1



アクセス

申し込みたいコースが決まったらマイページにアクセス
※ PC・スマートフォンどちらにも対応しています。

マイページ

<https://mypg.tds.jeed.go.jp/>



STEP 2



新規登録

- ① 「マイページを新規に作成される方はこちら」を押す
- ② ログインIDとパスワードの設定
- ③ 事業所情報の登録
必要な情報
・ 法人番号
・ 事業所所在地
・ 電話番号 等

STEP 3



受講申込

在職者訓練（能力開発セミナー）、生産性向上支援訓練のいずれかを申込
（申込が完了した時点で、登録完了となります。）

お問い合わせ先

マイページの操作に関する質問

マイページのよくある質問やログイン画面のお問い合わせフォームからご利用ください。

コース内容等マイページの操作以外に関する質問

申込先施設にお問い合わせください。

受講申込の流れ

受講申込の前に

ホームページやパンフレットをご覧ください、申し込みたいコースを決めます。
まだコースを申し込む予定のない方は、申込内容が決定してからマイページにログインしてください。

1 ログイン

マイページへアクセスします。
登録方法はP22をご確認ください。

2 コース検索

申し込む在職者訓練（能力開発セミナー）、生産性向上支援訓練を申込先の施設・対象年度から検索し、申し込むコースを絞り込みます。
オーダーにより実施するコースも申込可能です。
（申込先施設から受領した「申込コード」が必要です。）

3 申込情報入力

受講者情報を入力して「登録する」ボタンを押すと、受講者が追加されます。
受講者追加時、既に定員を超えるお申し込みがある場合、キャンセル待ちとなります。

追加方法が複数あり、一括追加も可能です。

- コース間の受講者コピーによる追加
- 受講者の一括追加
- 申込済コースからの受講者コピーによる追加

※ 受講者の状況については以下の通りです。

- ・ 申込済：訓練に申し込んだ直後又はキャンセル待ちの状態
- ・ 処理中：請求書がこれから発行される又は発行されて未入金の状態
- ・ 受講決定：受講料の入金により、受講が決定した状態
- ・ 欠席：キャンセル期限日を過ぎた後にキャンセルされた状態
- ・ キャンセル：キャンセル期限日を過ぎる前にキャンセルされた状態
- ・ その他：上記以外の状態

4 内容確認・変更

受講者の追加やキャンセルができます。
（Web上でのキャンセルには、一定の条件がありますのでご注意ください。）

5 請求書確認

申込先の施設から請求書が発行されると、登録されているメールアドレスに請求書のダウンロードとご入金手续のお願いに関するメールが届きます。
請求書の確認は請求書検索画面から行います。

6 受講料入金・受講決定

請求書に記載の受講料を銀行振込により入金いただき、申込先施設で入金が確認されると、受講が決定します。

7 書類受領

受講関連書類がマイページに公開されると、登録されているメールアドレスにダウンロードのお願いに関するメールが届きます。
受講関連書類のダウンロードは申込済コース詳細画面から行います。

受講者状況

申込済

処理中

受講決定

日程が合わない方や自社のみでセミナーを実施したい場合

公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯、実施場所を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

オーダーメイドセミナーのメリット

- ① 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
- ② 希望する開催日等をご相談の上、訓練コースを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
- ③ 社員教育に必要な講師、機材、研修会場等のご心配が不要です。

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① 公開中の能力開発セミナーもオーダーメイドセミナーとして計画できます。
(ガイドにないコース・分野についても、ご相談に応じています)
- ② 実施会場は当施設のほか、内容やご希望により出張セミナーにも対応可能です。
- ③ 訓練時間は1コース12時間以上となります。訓練の日程や、時間、受講者数をご相談ください。
- ④ 費用(受講料)は、教材や諸経費を含めてご提示します。



施設貸与のご案内

会場・設備のみ提供してほしい!



従業員の方の職業訓練や人材育成を目的とした研修の会場を必要とされる場合に、会議室、実習室、機械設備等をご利用できます。(レクリエーション等、能力開発以外に係る目的の利用は別途ご相談ください)

- 事業主や事業主団体の皆様が行う社員教育、技能・技術研修等
- 各種技能検定やその準備講習
- その他、公共施設として適切な目的として認められたイベント等(非営利であること)

注 意 点

- ① 承認された利用目的以外での利用及び転貸、勧誘・営業活動等のための利用はできません。
- ② 施設の利用にあたっては作業安全面に十分注意を払ってください。
施設設備等を破損または消失した場合はその損害を賠償していただきます。
また、使用終了後は清掃・片付けを行い現状を回復してください。
- ③ 実際の利用時には施設担当者の指示に従うようお願いいたします。

よくある ご質問

Q&A

お申込みについて

- Q 受講を申込み際の条件はありますか？
A 在職中の方や能力向上をめざす方であればどなたでも受講できます。

- Q 受講申込書になぜ生年月日が必要なのですか？
A 修了者に関係法令に基づく「修了証書」を交付します。その様式に必要なため記入をお願いしています。なお、「修了証書」は総訓練時間の80%(12時間の場合は100%)かつ12時間の出席を満たしている場合に交付します。

- Q 希望するコースが定員に達している場合はどうすればよいですか？
A 「キャンセル待ち」としてお申込み可能です。定員に空きが生じた時点で順次ご案内します。

- Q 受講料の支払いはどうすればよいですか？
A 原則、前払いとなります。開講の2週間(14日)前を目途に「受講票」及び「請求書」を送付しますので、請求書に記載されている指定日までに指定の銀行口座に受講料をお振込みください(受講料は消費税を含んでいます)。なお、振込手数料は申込者でご負担願います。

受講者の変更・キャンセルについて

- Q 申込み後に受講者を変更することはできますか？
A お申込みいただいた事業所内での受講者変更は可能です。本パンフレットの巻末にある「能力開発セミナー受講者変更届」をご記入の上、FAXまたはメールでご連絡ください。受講票を発送済みの場合は、原則、受講票の再発行はしませんので、受講の際には変更前の方の受講票を会場にお持ちください。
なお、「能力開発セミナー受講者変更・取消(キャンセル)届」は、以下の当校ホームページにも掲載しておりますのでご活用ください。

【秋田職業能力開発短期大学校】
<https://www3.jeed.go.jp/akita/college/support/seminar.html>

- Q 申込み済みのコースについてキャンセルはできますか？
A セミナー開講日の2週間(14日)前(土日祝日にあたる場合はその前日)までに巻末にある「能力開発セミナー取消(キャンセル)届」をご記入の上、FAXまたはメールでご連絡ください。それ以降の取消(キャンセル)やご連絡が無い場合は受講料をご負担いただきます。
なお、「能力開発セミナー受講者変更・取消(キャンセル)届」は、以下の当校ホームページにも掲載しておりますのでご活用ください。

【秋田職業能力開発短期大学校】
<https://www3.jeed.go.jp/akita/college/support/seminar.html>

そ の 他

- Q 申込んだコースを全日程欠席した場合、テキストはもらえますか？
A 受講料をお支払い済みの場合に限り提供いたしますので、ご希望の方はご連絡ください。

- Q コースが中止になることはありますか？
A 申込者が一定数に満たない場合、災害、感染症等の状況により、やむを得ず中止または日程変更することがありますのでご了承ください。既にお申込みをいただいている方には随時連絡いたします。

- Q 当日の服装や持ち物はどうすればよいですか？
A コース詳細ページの「持参品」をご参照ください。作業着等が必要な場合も同欄に記載しています。特に記載がない場合は実習に支障のない服装をお願いいたします。

- Q お昼を注文できる食堂はありますか？
A 秋田職能短大の食堂は平日に限り当日注文でご利用いただけます(数に限りがあります)。なお、食堂では持参した弁当等を食べることができます。

- Q 駐車場はありますか？
A 施設内の駐車場を無料でご利用いただけます。

講師派遣のご案内

講師を紹介してほしい!



事業主及び事業主団体等が行う人材育成(教育訓練及び研修等)の内容に応じ、訓練指導のノウハウを持った専門の職業訓練指導員を講師として派遣・紹介しています。

訓練内容についても、幅広い分野に対応することができ、各施設内での実施だけでなく、事業所への出張派遣も可能です。

社員教育訓練や技術講習会等、企業のレベルアップのためにご利用ください。

注 意 点

- ① 講師派遣費は、講師1人あたり1時間5,000円(税込)です。
派遣にかかる旅費、教材・消耗機材等に係る経費は、依頼主様負担となります。
- ② 施設貸与と合わせ、実施会場と講師の利用が可能です。
なお詳細な内容設定が必要な場合はオーダーメイドセミナー(P24)の実施もご検討ください。

事業主推薦入校制度

人材をじっくり育てたい！



この制度は、事業主から推薦を受けた従業員が、在職のまま専門課程、応用課程の学生として学ぶことができる仕組みです。

【専門課程】知識や技能・技術を兼ね備えた実践技術者を育成する2年間の課程です。
(東北能開大秋田校のほか、全国23ヶ所に設置)

【応用課程】さらに応用力と企画・開発力などの総合的なものづくり能力を身につける2年間の課程です。将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成します。
(東北地域では宮城県栗原市「東北職業能力開発大学校」に設置)

企業の未来を担う後継者や社員を、2年間の専門教育で着実にレベルアップ！

【3つの活用ケース】

1. 後継者（事業承継者）の計画的育成 → 【専門課程】
 - 対象：中小企業の次期経営者候補（親族内継承者等）
 - メリット：
 - ・2年間で基礎理論から最新技術まで体系的に習得
 - ・「技術・技能」を理解した経営へとつなげ、円滑な事業承継を実現
 - ・将来の企業経営を支える確かな人材を育成
2. 普通高校出身社員を即戦力化 → 【専門課程】
 - 対象：高校卒業後すぐ入社した若手社員
 - メリット：
 - ・基礎技術や理論を段階的に習得し、着実なスキルアップ
 - ・品質・安全管理など、現場で必要な知識を網羅的に学習
 - ・社員定着率向上と生産性強化を支援
3. 既存社員も新たな技能・技術で成長 → 【応用課程】
 - 対象：スキルアップや新分野参入を目指す既存社員
 - メリット：
 - ・新技術・新分野の知識習得で業務効率化や事業拡大が可能
 - ・生産性向上や開発力強化で、企業競争力アップ

【サポート】

- 「人材開発支援助成金」を活用すると…
- 訓練期間中の社員賃金が一部補助
 - 学費などの諸費用負担を軽減 ※次頁参照のこと。
 - これにより、教育投資の経済的ハードルが下がり、計画的な人材育成をスムーズに進められます。

※要件等、詳しくは最寄りの都道府県労働局へお問合せください。

人材開発支援助成金／助成内容

	賃金助成額 1人1訓練あたり1,200時間を上限		経費助成率 1人1訓練あたり中小企業50万円、大企業30万円を上限	
	人材育成支援コース	事業展開等リスクリソグ支援コース	人材育成支援コース ※雇用保険被保険者の場合	事業展開等リスクリソグ支援コース
中小企業の場合	800円／時間	1,000円／時間	45%	75%
大企業の場合	400円／時間	500円／時間	30%	60%

訓練期間中に社員に支払った賃金の一部と入校料、授業料、テキスト代等の経費の一部が助成されます。社員が雇用保険被保険者であることや、1か月前までに社員が受講予定の訓練計画等を提出するなどの要件があり、助成額にも上限があります。

【助成例（1年目）】中小企業における参考例（人材育成支援コース）

● 賃金助成 800円×1,200時間(上限) = 960,000円

● 経費助成 (入校料169,200円 + 授業料390,000円 + テキスト代等約80,000円) × 45% = 約287,600円
合計 約120万円

事業主は必ず助成金を受給できるわけではありません。助成金に係る相談、計画、申請が必要です。その他、必要な手続きを期日までに行わない場合や、要件を満たさない場合なども支給されません。詳しくは、都道府県労働局にご相談ください。

共同研究・受託研究のご案内

課題に対して一緒に研究したい！



産学連携の推進を図ることを目的として、地域企業に対する省力化や機能性向上等に関する技術的支援を通じて地域社会に貢献するとともに、民間企業等が抱える技術的課題解決のため、民間企業等との共同研究や受託研究を行います。また、地域企業との連携を通じて、生産現場のノウハウや最新の技術動向を把握させていただいています。

具体的には、民間企業等が製品の高付加価値化、新分野展開等を行う際に必要とする高度な技術力・研究開発力の育成を支援します。このために東北能開大秋田校が保有する職業能力開発のノウハウや先端的機器を活用し、次の調査・研究、技術的な相談等を実施します。

- ①現場の技術改良・改善及び新技術導入
- ②自動化、省力化等の技術導入
- ③新製品開発等

費用

【共同研究】民間企業等と連携して行う研究で、相互に相応の費用を負担して行います。

【受託研究】民間企業等からの委託を受け行う研究で、費用の全額は企業等の負担となります。いずれも計画審査・契約ののち年間単位（複数年可）の研究となります。

このページに関するお問い合わせ先

東北能開大秋田校（秋田職業能力開発短期大学校）

学務援助課 TEL. 0186-42-5600

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 秋田支部
秋田職業能力開発短期大学校長 殿

申 込 日	年 月 日
-------	-------

次の能力開発セミナーについて、訓練内容と受講要件を確認の上、申込みます。

1.届出者

受講区分	☐ 会社からのお申込み ☐ 個人のお申込み【法人名、法人番号、会社規模、業種等の記入は不要です】 ※『会社からのお申込み』の場合は、受講者が所属する会社の代表者の方にアンケート調査のご協力をお願いしております。(修了約 2ヶ月後に郵送いたします)			
法 人 名			事業所名 (支店名)	
法人番号			(法人番号がない方)	☐ 団体／ ☐ 個人事業主／ ☐ 個人
所 在 地 (住 所)	〒			
申 込 ご担当者	電話番号			F A X
	所 属 先			役 職 名
	氏 名			
	メールアドレス			
会社規模	☐ 29人以下 ☐ 30～99人 ☐ 100～299人 ☐ 300～499人 ☐ 500～999人 ☐ 1000人以上			
業 種	以下の 2 0 種類のうち該当するものを、左の ☐ にアルファベットでご記入ください。 ☐ A 農業、林業 / B 漁業 / C 鉱業、採石業、砂利採取業 / D 建設業 / E 製造業 / F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 / H 運輸業、郵便業 / I 卸売業、小売業 / J 金融業、保険業 / K 不動産業、物品賃貸業 L 学術研究、専門・技術サービス業 / M 宿泊業、飲食サービス業 / N 生活関連サービス業、娯楽業 O 教育、学習支援業 / P 医療、福祉 / Q 複合サービス事業 / R サービス業 / S 公務 / T 分類不能の産業			

2.受講申込コース

NO.	コース番号	受講者氏名 / ふりがな	性別	生年月日（西暦）
	開講初日	〔訓練の内容に関する経験・技能等〕		※就業状況
記 入 例	5M011	雇用 太郎 / こよう たろう	☒ 男/ ☐ 女	1 9 X X 年 X X 月 X X 日
	4/1	旋盤作業に 4 年間従事 ↑〔コース内容に関連した職務経験、資格及び教育訓練受講歴等について、差し支えない範囲でご記入下さい。〕		☒ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等)
1		/	☐ 男/ ☐ 女	年 月 日
				☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等) ↑〔コース内容に関連した職務経験、資格及び教育訓練受講歴等について、差し支えない範囲でご記入下さい。〕
2		/	☐ 男/ ☐ 女	年 月 日
				☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等) ↑〔コース内容に関連した職務経験、資格及び教育訓練受講歴等について、差し支えない範囲でご記入下さい。〕
3		/	☐ 男/ ☐ 女	年 月 日
				☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等) ↑〔コース内容に関連した職務経験、資格及び教育訓練受講歴等について、差し支えない範囲でご記入下さい。〕

- ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため貴社の判断で差し支えありません。
- ◆ 訓練内容等のご不明な点、または安全面・健康上においてご不安な点がございましたら、あらかじめご相談ください。
 - ◆ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
 - ◆ ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
 - ◆ 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。 ☐希望する ☐希望しない

能力開発セミナー受講者変更・受講取消届

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 秋田支部
秋田職業能力開発短期大学校長 殿

届 出 日	年 月 日
-------	-------

能力開発セミナーの受講申込みについて、次のとおり受講者の（☐変更・☐取消）を届け出ます。

1.届出者

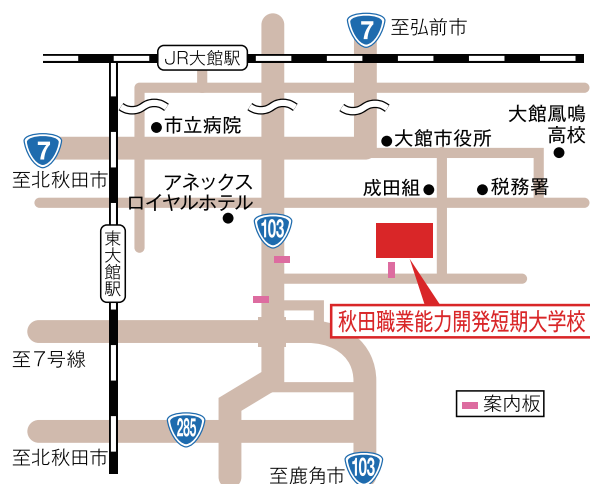
受講区分	☐ 会社からのお申込み ☐ 個人のお申込み【法人名、法人番号、会社規模、業種等の記入は不要です】 ※『会社からのお申込み』の場合は、受講者が所属する会社の代表者の方にアンケート調査のご協力をお願いしております。(修了約 2ヶ月後に郵送いたします)			
法 人 名			事業所名 (支店名)	
法人番号			(法人番号がない方)	☐ 団体／ ☐ 個人事業主／ ☐ 個人
所 在 地 (住 所)	〒			
申 込 ご担当者	電話番号			F A X
	所 属 先			役 職 名
	氏 名			
	メールアドレス			

2.変更・取消内容

No.	変更区分	コース番号	コース 開始日	変 更 ・ 取 消 前		変 更 後		
				ふりがな 受講者氏名	受講料 振り込み状況	ふりがな 受講者氏名	性別	生年月日（西暦）
記 入 例	☒ 変更 ☐ 取消	5M011	4/1	こよう たろう	☐ 未振込 ☒ 振込済	のうりよく はじめ	☒ 男 ☐ 女	19XX/XX/XX
				雇用 太郎	3 / 1 5 振込	※就業状況		
1	☐ 変更 ☐ 取消		/		☐ 未振込 ☐ 振込済		☐ 男 ☐ 女	/ /
				/ 振込	※就業状況	☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等)		
2	☐ 変更 ☐ 取消		/		☐ 未振込 ☐ 振込済		☐ 男 ☐ 女	/ /
				/ 振込	※就業状況	☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等)		
3	☐ 変更 ☐ 取消		/		☐ 未振込 ☐ 振込済		☐ 男 ☐ 女	/ /
				/ 振込	※就業状況	☐ 正社員/ ☐ 非正規雇用/ ☐ その他(自営業等)		

- ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため貴社の判断で差し支えありません。
- ◆ 訓練内容等のご不明な点、または安全面・健康上においてご不安な点がございましたら、あらかじめご相談ください。
 - ◆ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
 - ◆ ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
 - ◆ セミナー開講日の 2 週間前までにメール、F A X 又はご持参にて届け出てください。それ以降のキャンセルにつきましては、教材等の準備の都合により原則として受講料を全額ご負担いただきますので、あらかじめご了承ください。 ただし、当施設の都合によりやむを得ず中止した場合につきましては、別途ご連絡させていただきます、受講料を返金いたします。

会場MAP



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部
東北職業能力開発大学校附属

東北能開大秋田校

〒017-0805 大館市字扇田道下6-1

TEL 0186 - 42 - 5600
FAX 0186 - 42 - 5719

秋田職能短大

検索

MEMO

